

N響

NHK交響楽団 郡山公演

2022 **7/10**

14:00開場
15:00開演 **日**

指揮：沖澤のどか
© Felix Broede

プログラム

ブーランク：バレエ組曲「牝鹿」
ブーランク：フルート・ソナタ（バークリーによるフルートと管弦楽編）
フォーレ：幻想曲作品79
ラヴェル：組曲「マ・メール・ロフ」
ラヴェル：ボレロ

※新型コロナウイルス感染症拡大状況等により
出演者・曲目は変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

フルート：エマニュエル・バユ
© Fabien Monthubert

管弦楽：NHK交響楽団

けんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター)大ホール

入場料
※税込
(全席指定)

一般 6,500円 高校生以下 3,000円 車椅子席 3,000円

【みゅーあい郡山会員価格：一般 5,500円】※高校生以下、車椅子席はけんしん郡山文化センターのみで取り扱います。
【障がい者割引制度】介助者の同伴を必要とする障がい等級1級程度の方対象

プレイガイド

けんしん郡山文化センター
うすい百貨店(5階プレイガイド)
みゅーあい郡山(郡山労働者互助会※会員限定販売)

ローソンチケット(Lコード：22434)

【店頭】ローソン店内機器より

【インターネット】<https://l-tike.com/>〈PC・携帯共通〉

CNプレイガイド TEL:0570-08-9999

【店頭】セブンイレブン / ファミリーマート各店内機器より

【インターネット】<https://www.cnplayguide.com/>〈PC・携帯共通〉

入場券発売日

先行電話予約：5月1日(日)～5月13日(金) ◎5月1日(日)午前10時から受け付けます。

※電話予約は、けんしん郡山文化センターのみの受付となります。

※5月1日(日)は、座席指定はお受けできません。席数のみの予約となります。予めご了承ください。

※お電話でご予約いただいた入場券のお取り置き期間は10日間です。
※ご予約いただいた入場券は、5月15日(日)以降にご精算ください。(ご精算はご来館いただくか、お手数でも現金書留にて送付先まで送金願います。)

一般販売：5月14日(土) 午前9時～

◎けんしん郡山文化センターの窓口では、午前9時から販売いたします。

※プレイガイドによって販売開始時刻は異なります。※みゅーあい郡山の発売日は、会員に直接連絡いたします。

一般電話予約：5月14日(土) 午後2時～ けんしん郡山文化センター ☎024-934-2288

※電話予約は、けんしん郡山文化センターのみの受付となります。

※お電話でご予約できる入場券は、けんしん郡山文化センターで窓口販売した後(先行電話予約分を含む)の入場券になります。

※お電話でご予約いただいた入場券のお取り置き期間は10日間です。

10日以内にご来館いただくか、お手数でも現金書留にて送付先まで送金願います。

【現金書留送付先】※先行及び一般電話予約共通

〒963-8878 福島県郡山市堤下町1番2号 けんしん郡山文化センター「N響」係

【主催】公益財団法人郡山市文化・学び振興公社(郡山市民文化センター指定管理者)

【後援】福島民報社/福島民友新聞社/福島テレビ/福島中央テレビ/福島放送

テレビユー福島/ラジオ福島/ふくしまFM/郡山コミュニティ放送

お断り・お願い 未就学児の入場及び乳幼児のご同伴はお断りいたします。

けんしん郡山文化センターには駐車場がありませんので、

バス・タクシー等の交通機関をご利用ください。



この印刷物はFSC®認証紙です。紙リサイクル可。

お問い合わせ先

けんしん郡山文化センター

Kenshin Cultural Center

☎024-934-2288

けんしん郡山文化センター 検索

けんしん郡山文化センターウェブサイト▶

✉ kc-center@bunka-manabi.or.jp



新型コロナウイルス感染症拡大予防のお願い

けんしん郡山文化センターの利用にあたっては、「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大予防のご協力をお願いいたします。

- ① 人との間隔を空け、身体的距離の確保をお願いします。
- ② マスク着用を含む「せきエチケット」にご協力ください。
- ③ こまめな「手洗い」や「手指消毒」をお願いいたします。
- ④ 当日は検温し、ワクチン接種後であっても

次の症状があるお客様のご来場はご遠慮ください。

- ・当日を含め、過去2週間以内に発熱(受診や服薬等により解熱している状態を含む)
- ・呼吸器症状(せき、くしゃみ等)がある方
- ・具合の悪い方

- ・感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方
- ・感染拡大の状況によっては座席を移動していただく場合がございます。

感染予防に関する取り組みについて▶



N響

NHK交響楽団 郡山公演

Profile

エマニュエル・パユ [フルート]

Emmanuel Pahud

6歳でフルートを始め、パリ国立高等音楽院でミシェル・デボスト、アラン・マリオン、クリスチャン・ラルデ、ピエール＝イヴ・アルトーに師事、同音楽院卒業後はバーゼルのオーレル・ニコレの下で研鑽を積んだ。

1989年神戸国際フルートコンクール第1位、92年には最難関のジュネーヴ国際音楽コンクール第1位を獲得。

1992年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のオーディションに合格し、翌年には首席奏者に就任。2000年6月ベルリン・フィルを退団、同年9月から2001年6月までジュネーヴ音楽院フルート科の教授として後進の指導にあたる。2002年4月ベルリン・フィルに復帰、同オーケストラ首席奏者およびソロ・フルーティストとしての演奏活動を再開。

世界の名だたるオーケストラおよびコンサートホールに招かれ演奏しており、日本ではリサイタルの他、N響、読響、大フィルを含むオーケストラとの共演、室内楽、レ・ヴァン・フランセ(管楽アンサンブル)での公演、またマスタークラスも行っている。

また、1992年よりエリック・ル・サーージュ(ピアノ)、ポール・メイエ(クラリネット)等と共にサロン・ド・プロヴァンス国際室内楽音楽祭を主宰。

録音ではワーナー・クラシックスと専属契約を結び、20作を超えるCDをリリースしている。

2009年フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」受章。英国王立音楽院名誉会員。

©Josef Fischnaller



沖澤のどか [指揮]

Nodoka Okisawa

青森県出身。

東京藝術大学音楽学部指揮科首席卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。同大学院修士課程修了。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン修士課程オーケストラ指揮専攻修了。

第56回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。同時に聴衆賞、オーケストラ賞を受賞。第18回東京国際音楽コンクール(指揮)にて第1位及び特別賞、齋藤秀雄賞を受賞。第7回ルーマニア国際指揮者コンクールにて第3位受賞。渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。

2011年～12年、オーケストラ・アンサンブル金沢指揮研究員。

これまでに指揮を田中良和、松尾葉子、高関健、尾高忠明、クリスティアン・エーヴァルト各氏に、オペラ指揮をハンス・ディーター・バウム氏に、現代音楽指揮をマヌエル・ナヴリ、シアン・エドワードの両氏に師事。また幼少からピアノ、チェロ及びオーボエを学ぶ。

下野竜也、井上道義、ペーター・ギュルケ、ネーメ・ヤルヴィ、バーヴォ・ヤルヴィ、クルト・マズア、リッカルド・ムーティ各氏のマスタークラスを受講。

これまでに、ミュンヘン交響楽団、NHK交響楽団、読売交響楽団、コンツェルトハウス・ベルリン、東京都交響楽団、広島交響楽団、ブランデンブルク交響楽団、ライプツィヒ交響楽団、ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー、ザールブリュッケン・カイザー・スラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、北オランダ管弦楽団、バレンシア管弦楽団、ニース・フィルハーモニー・オーケストラ他多くのオーケストラを指揮。

オペラの分野でも活動を広げており、2017年ベルリンドイツオペラにて新作オペラ「Neue Szenen」を指揮した。2018年、神奈川県民ホール主催「ヘンゼルとグレーテル」で急速指揮者の代役を務めた他、2020年には日生劇場にて東京二期会オペレッタ「メリー・ウィドウ」を指揮し、好評を博した。また副指揮、プロンプター、ピアニストとしても多くの公演に携わっている。

2020年8月よりカラヤン・アカデミーの奨学金を得て、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にてキリル・ペトレンコ氏のアシスタントを務めている。

2021-2022年シーズンはキリル・ペトレンコ氏と共にカラヤン・アカデミー50周年記念コンサートを指揮する他、日本、ドイツ、オーストラリア、英国にて多くのオーケストラに客演予定。



©Felix Broede

NHK交響楽団 NHK Symphony Orchestra, Tokyo

NHK交響楽団は1926年10月5日に新交響楽団の名称で結成された。1951年には日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなりNHK交響楽団と改称。この間、ドイツからジョセフ・ローゼンストックを専任指揮者として迎え、日本を代表するオーケストラとしての基礎を築いた。演奏活動の根幹となる定期公演は1927年2月20日の第1回予約演奏会に始まり、第2次大戦中も中断することなく続けられた。以来、今日に至るまで、ヘルベルト・フォン・カラヤン、エルネスト・アンセルメ、ヨーゼフ・カイルベルト、ロヴロ・フォン・マタチッチ、ウォルフガング・サヴァリッシュ、ロリン・マゼールなど世界一流の指揮者を次々と招聘、また、話題のソリストたちと共演し、歴史的な名演を残している。

コンサートは年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏は、NHKのテレビ、FM放送で日本全国に放送されるとともに、国際放送を通じて全世界にも紹介されている。また、2013年8月にはザルツブルク音楽祭に初出演、2020年春にベルリン、ウィーンをはじめ、ヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。

と、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。

近年は次世代を育てる教育プログラムとして、オーケストラの人材を育成する「N響アカデミー」、全国の学校を訪問し身近に音楽の楽しさを提供する「NHKこども音楽クラブ」など多彩な活動を行っている。また東京2020オリンピック閉会式では「オリンピック賛歌」の演奏を担った。

コロナ禍の影響により2020-21シーズンの定期公演はすべて中止せざるを得なかった。しかし、専門家の監修のもと「N響感染対策ガイドライン」をいち早く作成し、それに則って「特別公演」を毎月開催。制約の多い日々を過ごす人々に演奏会場や放送を通じて音楽を届け続けた。

指揮者陣には、首席指揮者バーヴォ・ヤルヴィ、名誉音楽監督シャルル・デュワ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、桂冠指揮者ウラディーミール・アシュケナージ、正指揮者 外山雄三、尾高忠明を擁している。

